

情報通

2023 . August 8月号

発行：東京税理士会
 情報システム部
 題字：神津 信一（四谷）
 （税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。）

コインボイスによる中小企業のデジタル化

三分一技術士事務所所長

ISO/TC 295 Audit data services /SG 1 Convener 三分一 信之

JP PINTは万能薬か

電子請求書の普及により、会計データの標準化や情報共有が進み、税理士や企業の業務効率化が期待されています。これにより、データの一元管理やミスの削減、情報の検索や分析が容易になり、経営の効率化とコスト削減が可能となります。

令和2年12月、内閣官房IT総合戦略室は、電子インボイスの仕様を標準化するために、国際的な電子商取引ネットワークの標準の一つであるPeppolを採用することを発表しました。令和4年10月には、日本版のPeppol (JP PINT) の第一版が公開され、その運用はデジタル庁によって監督されています。JP PINTのサービスプロバイダは、OpenPeppolの電子請求書しか受け付けていないため対象範囲が限定されています (図1)。

OpenPeppolの管轄はC2-C3ですから、事業者とアクセスポイントの接続はプロバイダ次第です。例えば、C2のプロバイダが中小企業共通EDIとの接続を提供することで、事業者Z (C1) が中小企業共通EDIの利用企業であっても変換された電子請求書を事業者Y (C4) に送ることが可能となります (図2)。これは、JP PINTをサポートする会計ソフトがプロバイダ経由でOpenPeppolと接続するときと同じ形態です。

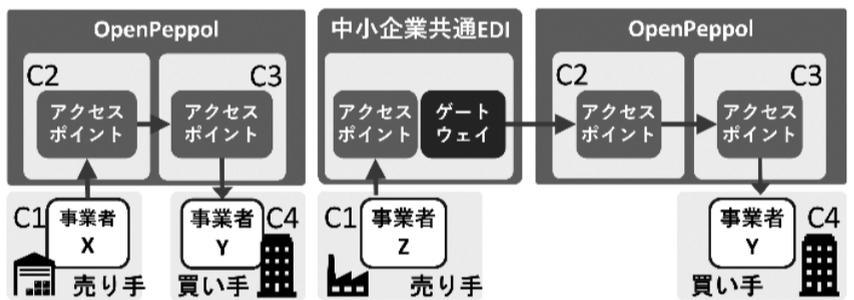


図1. 4コーナーモデル 図2. 日本版コインボイスゲートウェイモデル

ここで重要な役割を果たすのが「構文バイディング」です。欧州の統一市場を目指すCEF (Connecting Europe Facility) におけるeInvoiceでは、異なるシステムや国で使用されるさまざまな電子請求書の形式を統合するために構文バイディングを提供しています。これにより、企業や公共機関は異なる形式の電子請求書を共通のデータ項目でやり取りすることができ、データの相互運用性が向上します。

各種の電子請求書を相互連携させるには、電子データ交換 (EDI) も含む全ての電子請求書を対象とする「日本版コインボイスモデル」ⁱが必要です。その標準データ項目定義にもとづいて、異なる構文を相互変換する「コインボイスゲートウェイ」を使用することで相互接続することが可能になります。これについては、現在試行中です。

日本版コインボイスゲートウェイは、中小企業が電子請求書を利用するためにも便利なツールです。

具体的には、中小企業共通EDIとJP PINTという異なるデータ形式間のデータ変換を行うゲートウェイを利用することで、中小企業共通EDI参加企業もPeppolという世界的な電子請求書ネットワークのアクセスポイントに接続できます (図3)。

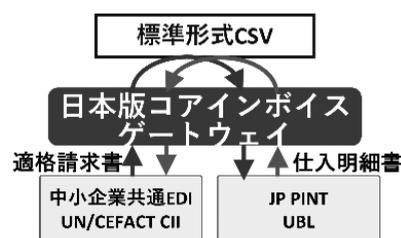


図3. ゲートウェイの変換処理

貨物船コンテナの積み替え作業に例えると

貨物船の輸送におけるコンテナの積み替え作業を例えに取り上げながら、コインボイスというシステムについて説明します。

コインボイスは、中小企業共通EDIやJP PINTなどの異なるデータ形式で表現された請求書を、共通の形式で統一的に扱うためのシステムです。港でコンテナを積み替える際に、ピッキングリストに従って請求金額、商品名、数量、金額、税率などを取り出し、指定された船倉に異なるとめ方で格納します。

この作業は、自動運転されるクレーンによって行われ、コインボイスの標準データ項目定義やピッキングシート、格納指示リストなどに基づいて指示されます。これらの指示は、タクソノミで定義された辞書によって表現されます。

このように、コインボイスは異なるデータ形式を統一的に扱い、効率的な請求書の処理を可能にするシステムです。日本版コインボイスゲートウェイは、このシステムを実現するための機能を提供するものです。まるで自動運転されるクレーンを使ったコンテナ積み替えのように、異なる形式の請求書の一つの共通形式に変換し、それを統一的に管理する役割を果たします。

構文バイディング

構文バイディングは、異なる形式のデータを統一された形式に変換するためのルールや手順のことです。これにより、電子請求書の情報を容易に取得・設定できます。

例えば、ある情報を表すために異なる会社がそれぞれ違う形式を用いていたとします。一方は「商品名-数量-価格」の順で、もう一方は「数量-商品名-価格」の順で情報を表現しているとします。このような場合、同じ情報でも表現の仕方が異なるため、それぞれ異なる読み取り方をしなければならず、その都度読み方を変える (プログラムを改修する) のは非効率的です。

そこで、構文バイディングを導入して「商品名-数量-価格」の形式に統一するといった具体的なルールや手順を設けるのです。これにより、どの会社からの情報であっても同じ読み取り方ができ、効率的に情報を取り扱うことが可能になります。

仕訳情報検索専用ブラウザ

日本版コインボイスゲートウェイでは、社内システムとの連携を容易にするために複数のインタフェースを組み合わせることもできます。一例として、構文バイディングを利用した「仕訳情報検索専用ブラウザ」を紹介します。

検索専用ブラウザは、会計ソフトからデータを取り出し、より確認しやすい形に変換するサービスとして試作し、公開していますⁱⁱ。

一般的な会計ソフトは、CSV形式でデータを出力できる機能を持っていますが、このブラウザはそれをさらに便利な形に進化させる役割を果たします。

検索専用ブラウザは、まず、会計ソフトから出力されたCSVファイルをISO/TC 295ⁱⁱⁱ監査データサービスで改訂作業中の

標準形式CSVに変換します。この標準形式CSVから、「仕訳日記帳」「総勘定元帳」「残高試算表」を自動的に生成して表示します。

さらに便利な点は、会計ソフトや利用者ごとに特有な情報も階層型Tidy data形式を利用することで、この標準形式CSVに登録できるということです。例えば、会計ソフトから出力したCSVには、固有の管理項目として「税情報」や「資産区分」、「原価部門」、「取引金融機関」、「仕入先」、「得意先」などがあるかもしれません。これらの項目は固有のCSV欄に記載されて出力されますので、その欄を取り出す個別のプログラムがないと確認できません。検索専用ブラウザは、構文バイディング定義表に基づいて独自項目も標準形式CSVに変換するので、プログラムを変更することなく統一した画面で確認することができます。

検索専用ブラウザは、会計ソフトのデータをそのベンダーやバージョンによる違いにかかわらず、より使いやすい標準形式CSVに変換し一元的に確認できるサービスです。例えば10年以上前の現在提供されていないソフトが出力したCSVでもそのデータ定義仕様があれば、構文バイディングを定義することで、標準形式CSVに変換可能です。これにより会計データのアクセス性と利便性が大幅に向上します。

電子請求書を契機とする会計のデジタル化

電子請求書を契機とする会計のデジタル化が重要です。

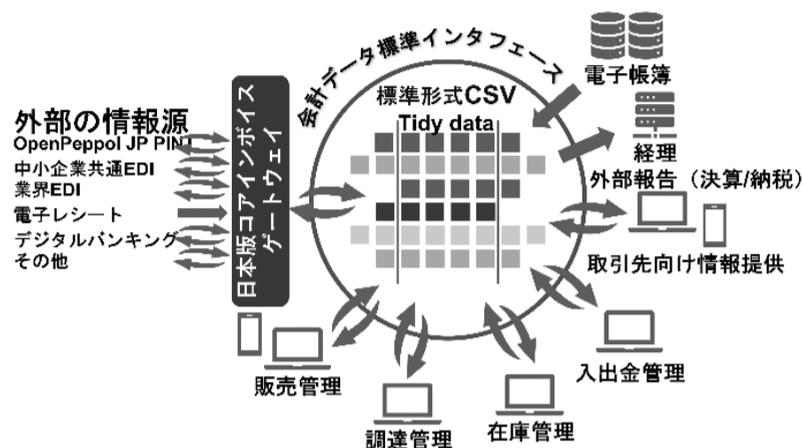
中小企業にとって、コアインボイスゲートウェイと構文バイディングは重要なツールです。コアインボイスゲートウェイは、異なる形式の請求書を統一的に処理し、請求書処理の高度化を促進します。構文バイディングは、自動的にデータを抽出し、正確な情報を含む標準形式の請求書として処理することで、業務の効率化を図ります。

会計データの標準化（標準形式CSV）により、中小企業は取引先とのビジネス関係も改善できます。共通のインターフェースを使用することで、データのやり取りがスムーズに行われ、取

引先とのコミュニケーションが円滑になります。また、会計データの標準化により、会計処理の効率化や精度向上が期待できます。

標準形式CSVファイルの構造や意味はタクソノミで定義されており、タクソノミの維持変更管理と連動させることで、システムの維持管理を自動化することも可能です。

会計データの標準化や共通インターフェースの導入に関するアドバイスや支援を通じて、企業の経営に貢献することができますので会計データの標準化（標準形式CSV）を検討されてはいかがでしょうか。



- i 日本版コアインボイスは、欧州規格のコアインボイスに触発されて命名しました。欧州規格のコアインボイスは、欧州で使用されている電子請求書の標準形式です。試行版は、三分一技術士事務所 (<https://www.sambuichi.jp>) が次のURLから公開しています。

<https://www.wuwei.space/core-japan/>

- ii 試行版は、次のURLから公開しています。

https://www.wuwei.space/core-japan/journal_entry/

- iii ISO/TC 295 Audit data services

<https://www.iso.org/committee/5648297.html>

ずっと安心するために、マイナンバーも電子申告も 達人シリーズ!

導入品目数に応じてソフトを割引サービス!

自由に組み合わせOK!

多数の会計・給与ソフトとデータ連携が可能



組合員通常価格
よりさらに

6品目以上導入 ▶ 6%OFF

8品目以上導入 ▶ 8%OFF

10品目以上導入 ▶ 10%OFF

例えば 税務6品目+電子申告の達人 NTTデータ価格 (月額換算) 月額 ~~16,550~~円

組合員
特別価格 月額 **12,765**円 (税抜)

※組合員特別価格は6%割引後の金額です。

税務6品目の内訳 法人税の達人・減価償却の達人・消費税の達人・内訳概況書の達人・所得税の達人・年調法定調書の達人
上記6品目+電子申告の達人を導入した場合を仮定し計算しております。

※ソフト保守料・電話サポート込

※別途組合費・出資金のご負担をお願いいたします。

☆他社等にて既に達人シリーズをご契約の方も、契約更新時にお切換えいただけます。

電話サポートは、組合員専用ダイヤルを設けております。



ハードウェアも

データ通信ならセットでお得!

安心の富士通製法人向けPCを取扱っております



東京税理士会データ通信協同組合

Tel: 03-3341-0260 E-mail: eigyou@tokyodata.or.jp
URL: <http://tokyo.zenkoku-data.net>